

「市報あまがさき」評価・分析及び改善提案・サポート業務委託 提案競技課題

1 課題の趣旨

本提案競技課題は、応募者が現行の「市報あまがさき」の紙面を具体的に分析し、課題抽出から改善提案までを一貫して行う力を有しているかを評価することを目的とする。提出する企画提案書の紙面分析を踏まえ、下記2の指定記事について、特徴・課題・改善点を分析のうえ、具体的な改善提案を行うこと。

2 対象記事（提案競技課題）

本課題では、性質の異なる次の2つの記事を対象とする。各記事の紙面上の掲載状況（概要）は以下のとおり。

① お知らせ欄（「お知らせいろいろ」）【※ 課題用記事Ⅰ】

行政、事業者、地域団体など各方面からの案内・募集・イベント・制度情報等をまとめて掲載する定例コーナー。地域の催しや地域活動が盛んな本市では掲載依頼も多く、できるだけ多くの情報を分かりやすく見やすく届けることが求められる重要な記事である。号によるが概ね紙面中盤に配置され、1件あたり「日時・会場・対象・定員（先着/抽選）・費用・申込方法・問合せ先」等の実務情報を文字中心で多数掲載しており、記事密度が高い。

② 一般会計の決算状況（決算特集）【※ 課題用記事Ⅱ】

年1回（例年10月号）に、前年度の一般会計決算を市民向けに説明する記事。市の財政状況や予算の執行状況を市民・事業者に直接お伝えできる、年に一度の貴重な機会である。歳入・歳出総額や内訳等を示すが、専門的な財政用語や高額な金額を含み、以下の項目を掲載するルールとしており、紙面の掲載範囲も限られることから、市民が自分の暮らしとの関わりを直感的に理解しにくい点が課題となっている。

（掲載している項目）

- ・前年の10月1日から同年の翌年の5月31日（以下「対象期間」という。）における対象期間初日の属する年度（以下「対象年度」という。）の歳入歳出予算の執行状況
- ・対象年度の末日における財産及び一時借入金の現在高
- ・対象期間末日における市債の現在高
- ・市民の負担の状況及び対象年度の収支の状況

※ 上記の概要は課題提示用。分析にあたっては、実際の紙面（本市ホームページでバックナンバー公開）を各自確認のうえ行うこと。

※ 具体的な改善提案にあたっては、課題用記事Ⅰ・Ⅱ（別紙参照）を用いて行うこと。

3 提案に盛り込むべき要件

対象記事①②のそれぞれについて、次をすべて盛り込むこと。

(1) 現状の整理

掲載目的、レイアウト・情報量・表現方法等の特徴を整理する。

(2) 課題分析・改善点

市民の視点から、分かりやすさ・読みやすさ・情報の探しやすさ・デザイン性等を踏まえ、課題を根拠とともに指摘する。

(3) 具体的な改善提案

課題解決につながる改善案を、レイアウト・見出し・文字量・図表・ピクトグラム・配色・情報の優先順位付け等の視覚面を含めて提示する。あわせて、改善後の紙面イメージ（ラフレイアウト・図解等）の資料を必ず作成すること。なお、改善提案にあたっては、課題用記事Ⅰ・Ⅱにおけるレイアウトのエリアを維持することを基本とする（大幅なエリアの増減は避けること）。

4 様式・提出方法

任意様式（A4 サイズ）。改善後の紙面イメージ等の視覚資料（A3 サイズ）はカラーの使用を可とする。なお、本課題は、「7 応募方法」に定める企画提案書等とあわせて提出すること。

5 評価の観点

本課題は、募集要項「9 選定基準」のうち、主に「理解度」「提案力」「実効性」の評価に用いる。

以 上